

中国新聞「子どもたちへ本の招待状」に掲載された本の紹介  
 (こども図書館職員が2020年5月17日～2021年3月28日に中国新聞「子どもたちへ本の招待状」  
 で紹介した中学生以上向けの本をまとめました。)



掲載日	掲載図書	紹介文
2020年 6月7日	<b>種をまく人</b> ポール・フライシュマン 著 片岡 しのぶ 訳 (あすなろ書房)	米国の貧民街にごみだらけの空き地がありました。ある年の春、1人の少女がそこにマメの種をまきます。それを見た人が1人、また1人と種をまき始めます。人種、性別、年齢、境遇も異なる人たちが、それぞれの動機で畑仕事を始め、こみためた空き地が菜園に生まれ変わり、人々の交流も生まれていきます。一つの種が生んだ奇跡を描いた短編集です。
	<b>人の心に木を植える</b> 畠山 重篤 著 スギヤマ カナヨ 絵 (講談社)	気仙沼湾でカキの養殖業を営む畠山さんは、カキの餌の植物プランクトンを増やすために、山に木を植える「森は海の恋人運動」を30年間続けています。それまで赤潮にまみれていた海が、この運動の広がりとともによみがえりました。ところが2011年3月11日、千年に一度の大津波が起きます。全てが流され、海は死んだかに思えたのですが……。
2020年 7月19日	<b>風の靴</b> 朽木 祥 作 柏村 勲 画 服部 華奈子 挿絵 (講談社)	中学1年の海生は、中学受験に失敗した上、大好きだった祖父を突然失ってしまいます。胸にもやもやを抱えたまま夏休みを迎えることになった海生は、家出を決行することに。親友の田明、愛犬ウィスカーと共に、祖父のヨットで航海する計画を立てます。出航直前、計画に気付いた田明の妹も加わり、風色湾に向けてヨットの旅が始まります。
	<b>スピニー通りの秘密の絵</b> L. M. フィッツジェラルド 著 千葉 茂樹 訳 (あすなろ書房)	画家であり、美術館の警備員でもある祖父の影響で、絵画の知識が豊富な13歳のセオ。ところが祖父は「卵の下を探すんだ」と言い残し、事故死してしまいます。夏のある日、祖父が描いた卵の絵を調べていたセオは、その絵に秘密が隠されていることに気が付き……。友人ボーディと知恵を出し合いながら、絵の謎に迫っていきます。
2020年 8月23日	<b>夏の朝</b> 本田 昌子 著 木村 彩子 画 (福音館書店)	母方の祖父の一周忌に祖父の家を訪れた中学2年生の莉子。莉子は早朝、庭にある蓮の花が開く瞬間に時を超え、さまざまな夏を旅します。幾度と時空を超える旅をするうちに、蓮のつぼみの中に詰まっているというさまざまな人の思いに出会います。今は亡き祖父、母、さまざまな人の思いが莉子の中でつながっていき……。思いを受け取る夏の物語です。
	<b>ダーウィンと出会った夏</b> ジャクソン・アリー 作 斎藤 倫子 訳 (ほるぷ出版)	1899年テキサスの町で11歳のキャルバーニアは、身の周りの生き物についてのさまざまな疑問を兄からもった赤い車表紙の観察ノートに書き留めていました。考えてもわからないさまざまな疑問がわいてきて、近寄り難い祖父に疑問をぶつけます。そして、祖父とともに実験や観察をするようになったことで、自然科学への興味はますます広がります……。
2020年 9月27日	<b>ほこりまみれの兄弟</b> ロースマリー・サトクリフ 著 乾 侑美子 訳 (評論社)	両親を亡くし叔父の農場で暮らす10歳のヒューは、叔母の仕打ちに耐え切れず愛犬・アルゴスと大切なツルニチソウの鉢を持って家を飛び出します。父が学んだオックスフォード大学を目指して進む中、魅力的な旅芸人の一団に出会い、旅をすることにします。16世紀のイギリスを舞台に、仲間を支えられながら成長する少年の物語です。
	<b>おいで、アラスカ!</b> アンナ・ウォルツ 作 野坂 悦子 訳 (フレーベル館)	中1のパーケルは4か月前まで飼っていたアラスカが、てんかんの病がある同級生・スフェンの介助犬になっていることを偶然知ります。意地悪なスフェンからアラスカを取り戻そうと深夜に家に忍び込みますが……。異なる事情から常に強い「不安」を抱える2人が、衝突しながらも助け合い、一歩を踏み出す勇気を得る姿を描きます。
2020年 11月1日	<b>夜間中学へようこそ</b> 山本 悦子 作 (岩波書店)	優菜がもうすぐ中学生になるある日、おばあちゃんが夜間中学に通うことを決めたと突然報告しました。子どもの頃、学校に通えなかったおばあちゃんには、漢字の読み書きができるようになりたいという夢があったのです。しばらくの間、学校までおばあちゃんの送迎をすることにした優菜は、年齢も国籍も事情もさまざまな夜間中学の生徒たちと交流し……。
	<b>ぼくたちは幽霊じゃない</b> ファブリツィオ・ガッティ 作 関口 英子 訳 (岩波書店)	アルバニアに住む7歳のヴィキは、出稼ぎに行った父と再会するため、母と妹と共にイタリアへ向かいます。命懸けてたどり着いた先では、人目につかないように気を付けて生活をする毎日が続いていました。やがて学校に通うことになったヴィキは、困難を乗り越えて新しい人生を切り開いていこうとします。実際の体験談をもとにした移民の少年の物語です。
2020年 12月6日	<b>ABC!</b> 市川 朝久子 著 (講談社)	みさとが途中入部した放送部は、部員が2人しかおらず廃部寸前。そんな中、容姿端麗な転校生・葉月が元放送部員と知りませんが、彼女は無口で誰からも距離をとっていました。部員獲得のため、お昼の放送を始めることになったみさとは放送中に失敗してしまい……。部活を通して友情を育む、中学生の青春を描いた物語。
	<b>リバウンド</b> E. ウォルターズ 作 小梨 直 訳 深川 直美 画 (福音館書店)	転校した学校になじめず、問題を起こしてばかりいたショーン。学校のバスケットボール・チームに入るため、一からやり直そうと考えますが、新学期早々、車いすに乗った転校生デーヴィッドとけんかし、案内役を引き受けるはめに、バスケットボールが大好きな二人が、反発し合いながらも、少しずつ心を通わせていく姿を描きます。
2021年 1月31日	<b>王への手紙 上・下</b> トンゲ・ドラフト 作 西村 由美 訳 (岩波書店)	ダホアウト王国の騎士叙任式前夜、16歳の見習い騎士ティウリは最後の試練に耐えていました。一晚中何も口にできず、人と話すことも眠ることも許されないので。ところが、見知らぬ男から助けを求められて規則を破ってしまいます。隣国ウナーヴェン王国の運命を左右する秘密の手紙を託され、ティウリは大山脈のかたへへと向かいます。
	<b>宇宙の地図</b> 観山 正見 著 小久保 英一郎 著 (朝日新聞出版)	東京都三鷹市にある国立天文台を起点として、10 <sup>1</sup> 光年、10 <sup>2</sup> 光年、10 <sup>3</sup> 光年……とだんだん視点を遠ざけていき、はるかかなたの宇宙までを天体写真で紹介。地球や惑星、星雲、銀河などの美しい写真を眺めていると、宇宙へ旅した気分を味わえます。それぞれの写真には解説があり、地球からの距離が一目で分かる地図も付いています。
2021年 3月7日	<b>よみがえった奇跡の紅型</b> 中川 なをみ 著 (あすなろ書房)	沖縄の伝統的染め物・紅型は、琉球王国時代に完成し、王族や士族の衣装に用いられました。王国が廃された明治以降は需要が減り、沖縄戦で型紙や道具類も焼失したことで途絶えるかに見えましたが、作り手や支援者の熱意によってよみがえります。沖縄の歴史をたどりつつ、紅型の再生や発展に功績を残した3名の生涯をつづった作品です。
	<b>漂泊の王の伝説</b> ラウラ・ガジエゴ・ガルシア 作 松下 直弘 訳 (偕成社)	砂漠の王国キングダで開かれた詩のコンクールで、貧しいじゅうたん織りの男に敗れたワリード王子。夢と名譽を奪われた憎しみから、「人類の歴史をすべて織りこんだ絨毯」を作るという難題をその男に命じますが、男が命を犠牲にして織り上げたじゅうたんは盗まれてしまいます。罪と後悔の念にさいなまれた王子は、じゅうたんを取り戻す旅に出ますが……。